

令和4年度 第1回 高石市環境審議会 議事録

【開催日時】 令和5年2月3日（金） 午後2時から開催

【開催場所】 高石市役所 別館3階 多目的ホール

【出席委員】 委員17名中15名の委員が出席され開催いたしました。

橋本 征二 奥田 悦雄 向井 太志
水谷 聡 明石 宏隆 高見 佳浩
久保田和典 清水 明治 永山 誠
田代 保蔵 若崎 孝子 藤田 政明
岡田 秀樹 穴瀬 雅美 東口 正一
(以上委員15名)

【欠席委員】 山内 和彦 吉田 長裕

【傍聴者】 なし

【日 程】 (1) 議案第1号 正副会長の選出について
会長に橋本委員、副会長に水谷委員が選出された。議事録署名人には、藤田委員と若崎委員が指名された。

(2) 議案第2号 高石市地域脱炭素計画に係る報告について

【質疑応答】 議案第2号 高石市地域脱炭素計画に係る報告について

(委員) P61の農業分野での二酸化炭素の削減を記載しているが、具体的には何をするのか。
(事務局) 国のJクレジット制度を利用して、CO2の相殺を考えている。

(委員) P52からP54でEV車の記載があるが高石市の現状は。

(事務局) 市内のEV車の台数は把握していない。公用車はPHVを数台保有している。EV車は0台。

(委員) P54公用車のEV化の試算ですが、国の補助金は50万ぐらい。公用車の更新時期にEV化がベターだと思う。災害時にも有効活用されると思うが、市の考え方は。

(事務局) 公用車58台を今すぐ全てEV車に切り替えるのは難しいが、国の補助金等を活用し、

所管課と連携し検討する。

(委員) 公共施設は充電施設は整えると思うので、更新時期がくれば積極的に導入を検討してほしい。公共施設等で充電設備があれば、市民の普及にも繋がる。

(委員長) まずは公用車のEV化や公共施設の充電設備が先で、その次に民間か

(事務局) 市が国の補助金等を活用し率先して行いたいと考えている。

(委員) 昨年度の審議会内で話に上がった脱炭素、カーボンニュートラル、ゼロカーボンシティの違いを改めて伺いたい。

また気象庁のデータが古いと指摘があったがその後はどうなったか。

(事務局) 脱炭素とカーボンニュートラルは同義。ゼロカーボンシティとはカーボンニュートラルを目指す市町村。資料の中でそのような言葉が混在しているので、わかりやすいように修正する。

また気象庁のデータは最新のものを利用している。

(委員) P24の絵姿を目指すなら市民の補助制度はあるのか。特に断熱住宅は市民の実費負担が大きいため、何か良い補助制度はあるか。

またPPAモデルは初期費用がなく、市民も検討しやすいと思うが、このモデルをそもその知らない人が多いのでは。そのあたりの周知活動や今後の展開予想はどのようなものか。

(事務局) 現在、国・府の補助支援メニューは増えてきているので、活用できるものは活用し、また市の財源も考えている。

断熱住宅の周知ですが、国の令和4年補正予算で省エネ改修の補助金があるので、さらなる周知に努めたい。

PPAは低リスクなので市民・企業も参加しやすく、今後もさらなる普及が進んでいくと考えているので、わかりやすく広報を心がけたい。

(委員) 太陽光発電の普及について。工場の屋根の買い取り価格も上がり、普及は進んでいくと思われる。しかし台風等の災害時の被害(太陽光パネル)が想定される反面もある。その災害時の対応も行政として考えておくべき。答弁は不要です。

(委員長) その他意見はありますか。

意見なしなので、これで案件2「高石市地域脱炭素計画に係る報告について」の議題を終了いたします。

本日、ご協議いただきます案件については、以上でございます。

それでは、以上をもちまして令和4年度第1回高石市環境審議会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。

【午後3時20閉会】

令和5年2月3日

署 名 人

署 名 人